

アブソリュートファイル指定でダウンロードする手順

Rev1.30 2009/04/24
DEFバージョン6.80C仕様より

【対象】

ルネサスC (ELF/Dwarf2) およびKPIT-GNU(ELF/Dwarf2)でコンパイル/リンクした全CPU品種が対象になります。

【概要】

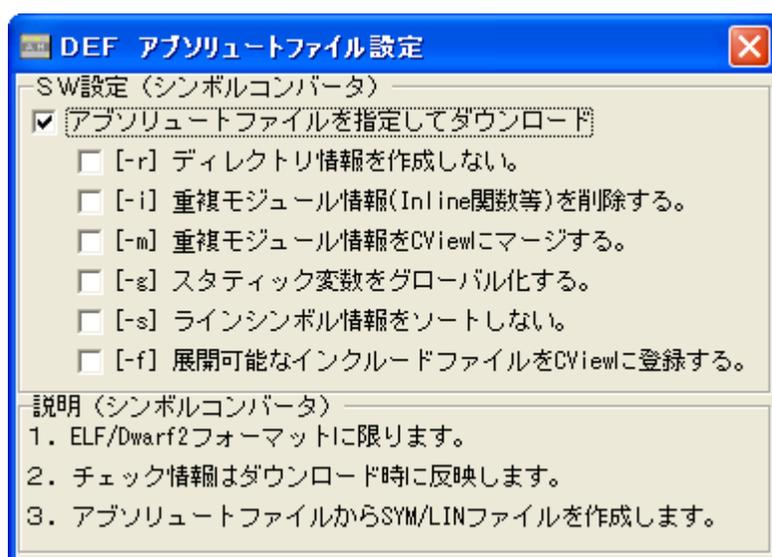
ELF/Dwarf2で作成されたアブソリュートファイルを直接指定してダウンロードします。

このことにより、Hewでのシンボルコンバータ登録が不要となり、Hew設定が殆どデフォルト設定状態でデバッグ可能になります。

【説明】

・アブソリュートファイル指定でダウンロードする場合は、DEFにて設定が必要です。

[1-1] <ファイルメニュー>-<アブソリュート設定>をクリックします。



1) 「チェック」すると、アブソリュートファイル (*.abs/*.x) 指定でのダウンロードになります。

2) [-r] [-i] [-m] [-g] [-s] [-f] は、シンボルコンバータのオプションSWになります。

3) この設定は、CPU設定/全体設定ファイルに記憶されます。

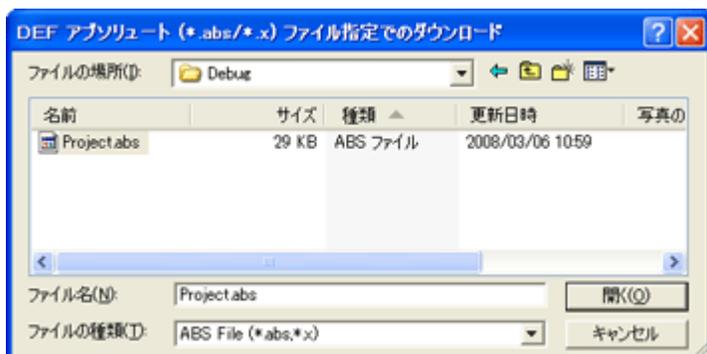
⚠ [-f] SWは、現(v0801)KPIT-GNUでは機能しません。
(ELF/Dwarf2 フォームにファイル名が登録されない為)

[1-2] 拡張子に関しては規則があります。

・KPIT-GNUで作成したアブソリュートファイルの拡張子を「*.x」にすることにより「GCSymconv」が起動します。

・ルネサス純正Cで作成したアブソリュートファイルの拡張子を「*.abs」にすることにより「HCSymconv」が起動します。

[1-3] <ファイルメニュー>-<ダウンロード>をクリックします。



1) この様に直接アブソリュートファイルを指定してダウンロードを開始します。

2) Hewのデフォルト設定では、アブソリュートファイルは「コンフィグレーションディレクトリ<Debug>」に作成されます。

3) 指定されたアブソリュートファイルから (*.sym/*.lin) ファイルを同じディレクトリに作成します。

4) プログラムファイル (*.mot) は、Hewで作成されたファイルを使用します。

【補足】

Hew設定例はHew4のみで作成していますが、Hew2/Hew3でも可能です。

Hew4の設定例を参考にして下さい。

以上